

あなたができる、犬たちを救う11の方法

by 渡辺真子さん「犬と、いのち」より

あなたの意識の変化で、多くの小さな命が救えます。あなたができることからいっしょに動物愛護をはじめませんか？



現状を広める

ペットにまつわる諸問題、殺処分が安楽死でないこと、センターから一時預かりで保護された犬猫が家族を求めていることなどを周囲に伝える。



迷子にさせない

飼い犬は登録して、鑑札や迷子札をつける。マイクロチップも有効。



捨てさせない

周囲にペットを捨てそうな人がいたら、新しい家族を探すよう説得し、ネットや情報誌に掲載するなどして手伝う。



殖やさない

不妊去勢手術を施す。素人の安易な繁殖は遺伝性疾患を広めるし、複数頭にもらい手を見つけるのは大変。



目を光らせる

悪質と思われるペットショップがあれば動物取扱業の登録番号をチェックし、展示されている犬猫の衛生管理などを観察して地域の担当窓口に相談する。



手放さない

家族として迎えたら、最期の瞬間まで家族として共に過す。



通報する

愛護動物の遺棄と虐待は犯罪なので、見かけたら警察に通報する。



ボランティア活動に参加する

直接的な動物保護以外にも寄付や啓発活動などさまざまな形の貢献がある。

*ちばわんボランティアメンバーにお気軽にお問い合わせください



飼う前に考える

ペットと暮らし始める前に、その平均寿命まで飼い続けられるか家族でよく話し合い、ライフスタイルに合った動物を選ぶ。



家族になる

施設やボランティアの方に希望を出して、保護された犬を家に迎え入れる。



買わない

悪質と思われるペットショップでは、動物はもちろん、おやつ1個でも買わない。



犬の殺処分問題を長年取材してきた作家 渡辺真子^{ミコ}さんによる胸を打つ文章と、処分施設の真実に迫ったモノクロ写真で構成された「いのち」を見つめる一冊です。辛いシーンもありますが、「かわいそう」な本ではなく、犬たちのために何かできることはないか考えるきっかけになる、「慈しみの気持ち」が湧いてくる本です。

出版社: 朝日新聞出版(2010年2月5日発行)



ちばわん

ちばわんは、行き場のない犬猫に、新しい家族をさがす市民ボランティアグループです
ホームページ <http://www.chibawan.net/>